

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぶちば		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤スタッフが全員公認心理師資格を持っていること。	専門的支援体制加算を算定し、算定対象以外の職員の中にも専門職がいることの周知を行っている。	全員が専門資格を既に取得しているため、より事業所の利用児童・保護者にとって相談しやすい環境づくりを図っていく。
2	スタッフに複数名のペアレントメンターがいること。	茶話会やペアレント・プログラムを実施し、専門職員による支援だけでなく、子育て経験のあるスタッフとのコミュニケーションの機会を設けている。	この体制を継続し、積極的な家族支援を行っていく。
3	親子通園の形式をとり、本人支援のみならず、家族支援も積極的に行っていること。	保護者同士とのコミュニケーションや職員との相談の中で子育ての不安や子どもへの対応についてアドバイス等しやすい環境づくり	この体制を継続し、積極的な本人・家族支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通園であるために、就労している保護者が通いづらいと感じ、利用に繋がりにくいこと。	親子通園のスタイルと保護者とのニーズとの不一致	やむを得ない事情(保護者や家族の急病など)は送迎を行い、親子通園のハードルを下げようという試みは行っている。単独通園に関しては家族支援の重要性から形態転換は難しいと考える。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所がちば

公表日 2026年 4月 30日

利用児童数 年 月 日 回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	0	0	ジャスパーやモクモクタイム以外の時間でも時に子供同士が関わり合いを持って遊びながら、時に職員さんと一対一で遊んでもらうことができ、今の広さに不都合は感じていない	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3	0	1	時と場合によっては聞きたいことや相談したいことを話しぶりにもある下の子も安全に見ていただいてありがたいです。もう1人位、心理士さんがいらっしやればいいかな、と思います。	常勤の心理士3人、非常勤の心理士2人います。活動によってざわわわして相談しづらい事がありましたら、遠慮なく事務所の職員にお声掛けください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2	0	0	基本的にはよい。本人が取り組むまで待てず、取り組もうとしたタイミングで、気付かなかったのが取り上げることがあった。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	3	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	2	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	0	戸外遊びの機会は少ないと思う	ジャスパーは環境設定された部屋の中で行うプログラムなので、戸外遊びの活動は少ない。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	1	15		利用のお子さんは、保育園や幼稚園、こども園と併用して通われています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	3	もっと回数を増やしてもらえたら嬉しいです。	現在、1年に2クール行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2	0	0	できていると思います	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	5	0	0	面談はないが、積極的に声がけしてくるので助かっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	17	0	ささゆりの会？などに入っていればそういう機会もあるようだが、入っていないとそういう機会は全くないといっている	保護者会の開催を企画予定しています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	3	0	すぐに相談できるのがありがたいです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	7	0	何かあればLINEで連絡がくるが、あくまでも事務連絡で、積極的な情報提供のようなものはない。	事業所の自己評価の結果はHPで公表しております。活動予定やセミナーや研修のお知らせはLINEで連絡させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2	3	0		個人情報の取り扱いには十分注意しています。ご心配な事がありましたら、遠慮なくご相談ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	8	1	避難訓練はあるが、その日に行かないと、後日参加するということはないため、一度も参加したことは無い。	毎日同じお子さんの利用では無いので、希望者のみの避難訓練をしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2	9	0		非常災害に備え、緊急時対応マニュアルに沿って定期的な訓練をしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3	4	0	棚上の頭上より高いところにおもちゃがあるのも、大きい地震が発生したら落ちてくる為危ないと思った。	家具はすべて、地震対策用の固定をしております。おもちゃの落下を防ぐ工夫を早急に考えたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	8	0		事故や怪我の発生状況を速やかにお伝えするように職員に徹底して指導いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	0	1	0	6ヶ月の評価以前に定期的に支援計画の進捗状況や効果、現状についての話し合いなどがあると目的目標が明確化されて良いと思います。本当に良くしてもらっています。ぶちばさんに出会えて良かったです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ぶちば				公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	子ども1人につき職員が1人なるべく付くように心がけている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	個別療育、頑張りタイム、自由遊びの空間は分かれている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	利用者が降所した後に振り返りの時間を設けている。注意点や今後の目標を話し合う場になっている。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者評価の内容については職員に共有し、改善するよう話し合っている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	虐待・権利擁護等必要な研修は全員参加し、検査や支援方法に関するセミナーを各自受講している。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	Vineland- II を実施している。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	相談しながら月に1回、活動プログラムの内容について話し合っている。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	利用者が降所した後に振り返りの時間を設けている。注意点や今後の目標を話し合う場になっている。				

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別療育のジャスパーと設定遊びや工作等を組み合わせる計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	支援開始前に職員間で打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	支援終了後は振り返りをして活動内容やお子さんの様子等、を職員間で共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	日々の支援の記録を取り、支援内容について職員で検証している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	色々な機関と連携をとって支援している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	保護者から申し出があればぶちばでの様子を共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	保護者から申し出があればぶちばでの様子を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	10		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		お子さんは保育園やこども園と併用して利用している。地域の中での関わりを今後考えたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	成長した部分を保護者の方と共有し、お伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	1年に、2クール開催している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	きょうだい児の同伴を可としており、交流の機会を設けている。	保護者会の開催を今後企画したいと思っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	2	事務連絡やお知らせ、利用についての連絡はLINEを使っている。	定期的な通信は発行していないので、今後検討する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	職員に心理士、ペアレントメンターがいて、配慮して話している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10		地域との交流がなかなか実施できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	契約の時に保護者にお子さんの様子を記入していただいている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	一人、アーモンドのアレルギーのお子さんがあるので、最初からアーモンドの入ったお菓子を事業所には置かないようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットを準備し、再発防止に向けて検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待・権利擁護等必要な研修は全員参加し、検査や支援方法に関するセミナーを各自受講している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	やむを得ずに身体拘束を行うかについて、説明をして、個別支援計画に記載している。		